



4月30日 1999・No.103

東京都印刷工業組合京橋支部  
 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8  
 日本印刷会館3F 電話 3552-1855  
 FAX 3297-3790  
<http://www.threelight.co.jp>  
[kyobashi@bive.ocn.ne.jp](mailto:kyobashi@bive.ocn.ne.jp)  
 発行人 水野 雅生

### 印刷文化の伝承

支部長 水野 雅生

人類史上最大と言われるグーテンベルグの活版印刷術の発明は燎原の火の如く世界各地に拡まった。この印刷術の出現によって、人々は文字を読むことを強要され、文明の発展に大きく貢献した。

我が国には天正十八年（一五九〇年）の少年遣欧使節団の帰朝に際し宣教師ヴァリニャーニが活字印刷機と共に工人若干名を伴って来朝し肥前国加津佐の学林にて印刷を開始した。勿論日本耶穌会の始めたこの印刷事業全てがキリスト教伝導の一手段として行われたため宗教書が多く、これに次いで外来宣教師の語学研

究の資たる語学書、それら用語は日本語、ラテン語、ポルトガル語で、外国人用としてのローマ字本と漢字仮名の国字本との二種類が刊行された。しかしながらこれらの刊行書は後相次いで起こったキリシタン迫害の難に逢い、散佚して伝わらないものが多いが、教義、辞典、ドチリナキリシタン、平家物語、イソツプ物語等が活字組で印刷され美しく装本されている。ここに華々しく東西文化の交流が行われたことも見逃しえない現象である。「キリシタン版」はキリスト教布教活動のためのプロパガンダとしてであるが、印刷文化史上忘れることのできないものである。

（ミズノプリンティングミュージアム 館長）



#### 「キリシタン版」精神修養の提要 1596年刊

キリシタン版は1590～1614年の20年間に激しい迫害を受けつつ加津佐、天草、長崎で出版され、現在までに31種類の刊行物が発見されている。

# 「デジタル化」

副支部長 宇野 一男

これからの私達の仕事・生活スタイルを考えると、欠かさないキーワードとして真っ先にあげられるのが「デジタル」でしょう。すでに私達の日常生活にはAV機器を中心とする「デジタル」関連商品が深く入り込んで来ています。デジタルAV機器の先駆けとなったCD（コンパクトディスク）が十五年程前に登場し、またたく間にアナログのレコード盤を駆逐してしまっただけでなく、記憶に新しい出来事です。その後は、MD（ミニディスク）、DV（デジタルビデオディスク）、DVC（デジタルビデオカメラ）などが続々と登場し、電話回線などもNTTは積極的に取り込み、近い将来テレビ放送のデジタル化が着々と進行しつつあり、21世紀には日常生活の空間や仕事において、こうしたデジタル関連商品とはますます切っても切れない関係になりそうです。

印刷業界もデジタル化（DTP）をはじめマルチメディアへの取り組みはいろいろな形で始まっており、インターネット、CD-ROMなど電子媒体を通じて新たな営業・製作に意欲的に事業展開を行い始めています。

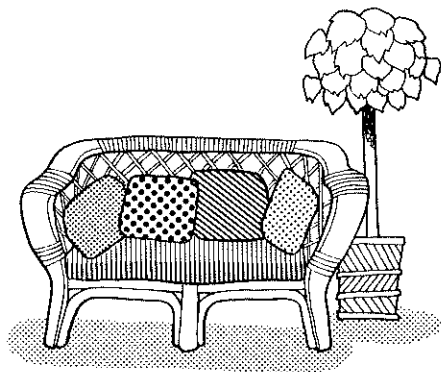
しかしながら、活版印刷からオフセット印刷の永い年月を経験してきた50代以上の指導者がデジタルに取り組むのはなかなか困難なことで

あり、数年前よりアメリカ・ヨーロッパをはじめとする世界のデジタル化の現状に痛烈な危機感を強く持ちながらも、さて自社において、何からデジタル化に取り組むか困惑・検討し、業界の指導もあり現在DTP導入をされている会社はたいへん数多くなりました。

デジタル化は、これまでの技術革新のような技術進歩の延長ではなく、新規形態の誕生だと思われず。今までのような印刷業としての営業方法や生産システムが大きく変化し、他業界との交流も活発になり他業界から印刷関係に入り込んで来ることもあり、こちらからも新しい分野に取り組み進出してゆける可能性がでてきました。

このようなデジタル化が進むにつれて、従来の印刷に対する固定的感覚を大幅に修正しながらも十分に理解することにより、顧客の本格的なフルデジタル化に遅れることなく、デジタルとアナログを上手に併用しながら顧客のさまざまな動向・要求に合わせて対応してゆくには、デジタルのメリットと限界を顧客に説明できる営業が必要であり営業マン自身がソフトの使い方や問題を把握していなければ、後で従来では考えられなかった事故も起こり得ることから、デジタル化（DTP）は営業マンも編集や

製作などの知識が必要になると思われます。すでに多数の印刷会社は、DTPを駆使し業績を伸ばしておりますが、将来的にはインターネットやマルチメディア関連事業がますます進んで行くものと思われ、京橋支部印刷人青年会の方々をはじめ若いエネルギーと感性を21世紀に向かう印刷産業の発展の為にその英知と勇氣に期待したいと思えます。



# 新年臨時総会

2月5日 熱海 金城館

2月5日(金)、午後3時30分より、熱海・金城館において京橋支部平成11年新年臨時総会が開催されました。

当日は、地区長会メンバーにより午後2時40分より部長・監査・地区長会を行った後、総会の会場準備に入り、定刻の3時30分、宇野副支部長の司会により開会しました。

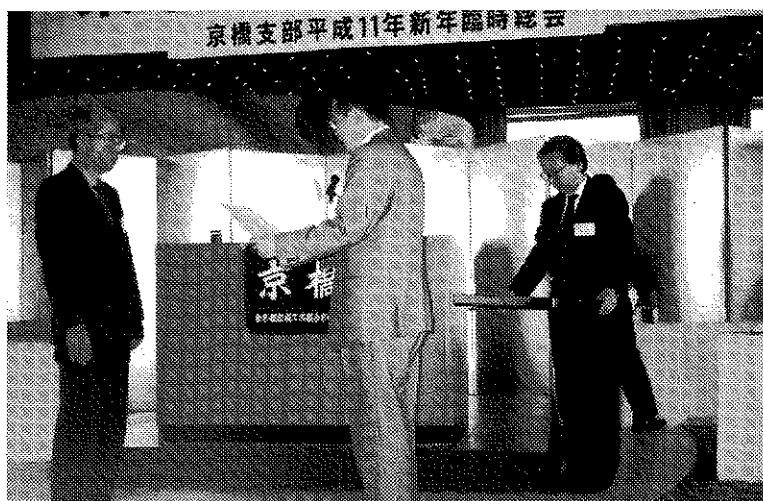
先ず、開会のことばを花崎副支部長が述べ、続いて水野支部長が次のような挨拶をされました。「新執行部が発足して約10ヶ月が経過し、その間支部組合員の皆様には多大なお力添えをいただき心から感謝申し上げます。」と述べられ、更に「10月に行われた第10回中央区産業文化展では、京橋支部が中心となりその運営に当り大成功を収めたことには大変感謝いたしております。

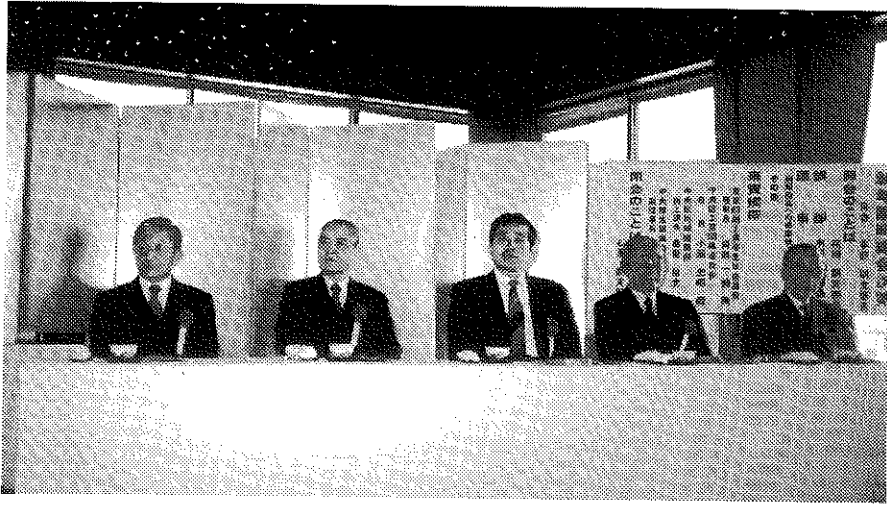


ます。」と組合員の皆様へ感謝の意を表しました。そして「バブル期に支部地域内での再開発が行われたことにより組合員の減少が始まり、バブル崩壊後も引き続きその傾向が一層進み、最大の支部であったものが現在は文京支部に追越されたことは大変残念なことであり、今後は脱退の防止を計り乍ら新しい組合員の参入を強く働きかけて行きたい。」と今後の抱負を話されました。挨拶の終りには作家の武者小路実篤先生の「君は君、吾は吾、されど仲良し」の句を出され支部組合員の結束のあり方の一つとして引用されました。

このあと前期役員への感謝状と記念品の贈呈へと移り、まず執行部役員から十文字康雄前支部長、榎本則義前副支部長、福田満洲雄前副支部長、山崎隆三前副支部長、青柳晴男前副支部長、永井直裕前副支部長、山内治夫前監査、宇津木俊雄前監査の方々へ水野支部長より一人ずつ感謝状が読み上げられ記念品が贈られました。続いて前地区長を代表して細田益造前京橋地区長、前幹事を代表して小筆勇二前入船地区幹事が水野支部長より感謝状と記念品が贈られ、総会出席者全員より、この2年間支部役員として活躍されたことへの盛大な拍手をお受けになりました。

この後の来賓挨拶では、東京印刷工業厚生年金基金理事長・田島一彌氏、中央区工団連会長・小葉忠昭氏、そして中央区商工課長・斎藤裕文氏より挨拶があり、斎藤課長の挨拶の中で





は3月に実施される平成10年度中央区産業高度化支援事業としての中央区と京橋・日本橋支部主催による研修会内容の概略説明がありました。

総会最後は石澤副支部長が閉会のことばを述べ、平成11年新年臨時総会は終了となりました。午後6時からは関連業界の方々も含め参加者全員での記念撮影を行った後、新年懇親会宴会が開かれました。宴会は松岡、西山両副支部長の進行で進められ、まず水野支部長が挨拶を述べ、関連業界の方々に日頃のご協力にお礼を述べ、今後一層の関係向上を計って行き度いと挨拶しました。続いて東製工組京橋支部長・岸田俊辰氏が関連業界を代表して挨拶を行った後、支部総会ではめずらしい「鏡開き」を行い、新年にふさわしい景気づけをして更に、この樽酒で小山英美京橋支部顧問のご発声による乾杯で一同これに和して杯をあげました。この後は恒例の関連業界の方々の紹介へと移り持時間内での自社PRに各社ワンポイント・コピーに熱心に披露して盛んな拍手を受けました。賑やかに歓談となったところでカラオケ大会となり宴は最盛況を迎え、予定時間を延長して8時30分、十文字支部相談役の中締があり、新年宴会はお開きとなりました。

(横田)



## 中央区産業高度化支援事業セミナー

# 「印刷産業に今求められている」と

中央区と京橋・日本橋支部主催の研修会が3月8日(金)から4回にわたり開催されました。

前回は、平成9年6月17日～同9年8月2日迄の4コース8回での「Mac・DTP集中研修会」(デジタル受注時代に対応して)をテーマに行い、今回はその第2弾として「印刷産業に今求められていること」をテーマに企画されたものです。

DTPへの対応力がある程度のレベルに到達しているとの認識のもとに行われた今回の企画では、

◇経営者向け講座として

第1回、「全国元氣印刷業に見る、デジタル活用戦略」

講師 たなか経済研究所 所長 田中肇氏

日時 3月8日(月) 18時～20時

受講者(申込受付) 90名

第2回、「小規模印刷企業の経営戦略」

講師 キング印刷(株)

ゼネラルマネージャー 伊東邦彦氏

日時 3月12日(金) 18時～20時

受講者(申込受付) 82名

◇営業担当者向け講座として

第3回、「提案営業を越えるコンセプト営業の発想と展開法」(その1)

講師 学校法人 産能大学 主管研究員

床岡治男氏

日時 3月15日(月) 18時～20時

受講者(申込受付) 113名

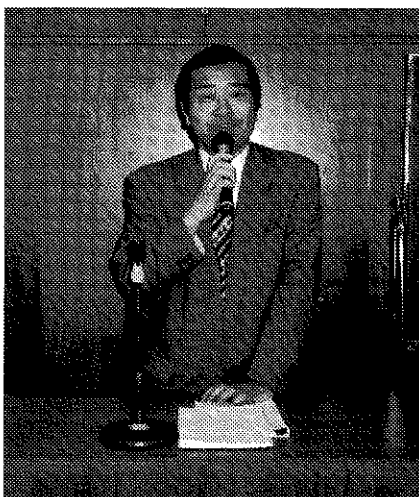
第4回、「提案営業を越えるコンセプト営業の発想と展開法」(その2)

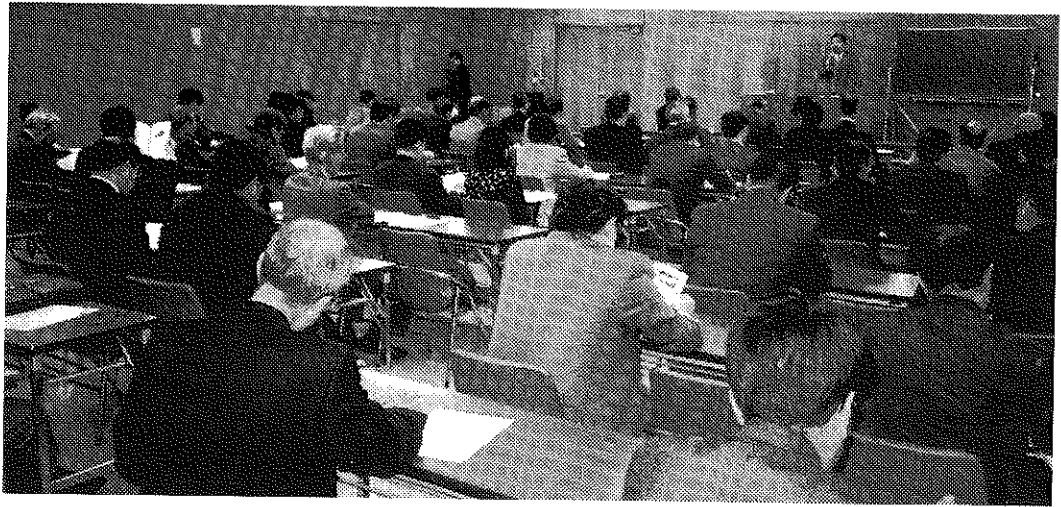
講師 第3回と同じ

日時 3月19日(金) 18時～20時

受講者(申込受付) 98名

会場は第1回～第4回迄いずれも中央区役所8階大会議室で行われました。





## 京青会研修会

### 盛況だったISO研修会

例年三月の研修会と言うと事業年度最後の出版で、企画は底を付いてくるは、年度末でそれぞれ忙しい時期になるは、で盛り上がり欠けるのが恒例でした。ところが今年、(株)久栄社の田嶋専務さんご紹介で、去る三月九日、支部室にて「ISOとは何か」をテーマに研修会を開き、盛会となりました。

講師の小林璋三先生は、以前、大日本インキ化学工業(株)でISO取得時に実質的責任者として活躍され、同社定年退職後、社団法人日本能率協会に所属し、ISO審査登録センターの専任審査員をなされており、実務に則した具体的なお話しを伺うことができました。ISOを取得するということは、コストの面や意思決定の難しさなどからかなりの努力が必要ではありますが、取得後の顧客に対する信頼性の向上や合理的な品質管理によるトータルな低コスト化が図れることには、多いに注目すべきと感じました。

お話は九〇〇番台の取得についての具体的な進め方が中心でしたが、常日頃いかに「印刷屋はどんびり勘定」かと思ひ知らされました。「いつもの均量の紙を、いつもの枚数で、前回と同じ工場へ」何んて電話を掛けているようでは、ISOは取得できません。経営者の確固たる強い意思決定から始まり、品質管理手順の文書化、マニュアル化の完全構築と、検証の徹底

が要求されるということです。

今後は、一部の企業で取得され始めた一四〇〇〇番台(地球環境に対して)、さらには一六〇〇〇番台(安全性に対して)もあるとのことお話しで、さらに得意先企業からの取得要求(例えば、電機メーカーの製品マニュアルは部品の一部とみなされるため)がでてくることですので、ますます真剣に取り組んで行かなければなりません。

出席者は、会員が十五名と、OB会員でもある水野支部長、十文字前支部長をはじめ元会員の方も四名お見えになり、終了予定の八時三〇分を大幅に延長して、会館に閉館時間の九時過ぎまで熱心な討議が続きました。

(担当幹事 伊森・杉本記)



# 地区だより

## 湊地区

湊地区の年中行事として、一月の新年会、春は役員改選の年は総会、無い年は春の懇親会、夏の納涼会は、唯一夫人同伴を歓迎し、秋の旅行会、年末の忘年会と五回の会合を持っている。総会と忘年会は定番ですが、新年会、春の懇親会、納涼会は、会場選びに時の幹事達が苦労しているところである。

春の懇親会では、過去、浅草で「振袖さん」と云う若いコンパニオンを呼んで会を盛り上げたり、又桜の花の開花に合わせて屋形船で墨田川を上下して夜桜を見物したり、東京湾クルージング・シンフォニーの船上で、フランス料理のフルコースを食べたりして趣向をこらしている。

今年の春の懇親会は、舞浜のデイズニードの脇のヒルトン東京ベイで焼肉の食べ放題と飲み放題であった。

四月五日、定刻七時前には参加者二十四名全員参集し、八代地区長の挨拶のあと、続いて前常務理事の篠倉さんの乾杯の音頭で始まった。先ず鮪のタタキ、牛タンの前菜、わかめサラダ他と、上タン塩、リブコース、ハラミ、チキン、ポーク、上ミノの盛り合せがテーブルに並

べられ、焼きはじまった。立ち上がる煙も、さすがホテルで排気も良く煙らないので気分が良い。しばらくすると、誰かがワインが欲しいと云い出すと、あちこちからも声がかかり、赤だ白だと次々に配られる。

普通の宴会と違い、カラオケが無いので、専ら飲み食いに専念する。

事前の打ち合せの折、近年平均年齢が上り、食べ放題、飲み放題にしなくてもという意見もあったが、若手のテーブルでは、三、四回お代りをした様である。

最後に、御飯、味噌汁と食後のデザートのアイスクリューが出た所で、西山副支部長の発声で大いめとなる。

ここで帰りを急ぐ人達数名が帰り、残った十八名が、今日の会合のもう一つの目玉でもある十一階のスカイラウンジへ移動する。

ウス暗い大きなラウンジには、ゆったりと広く間隔をとってテーブルが並び、その上には小さなローソクが灯され、ピアノの生演奏が我々を迎えてくれた。

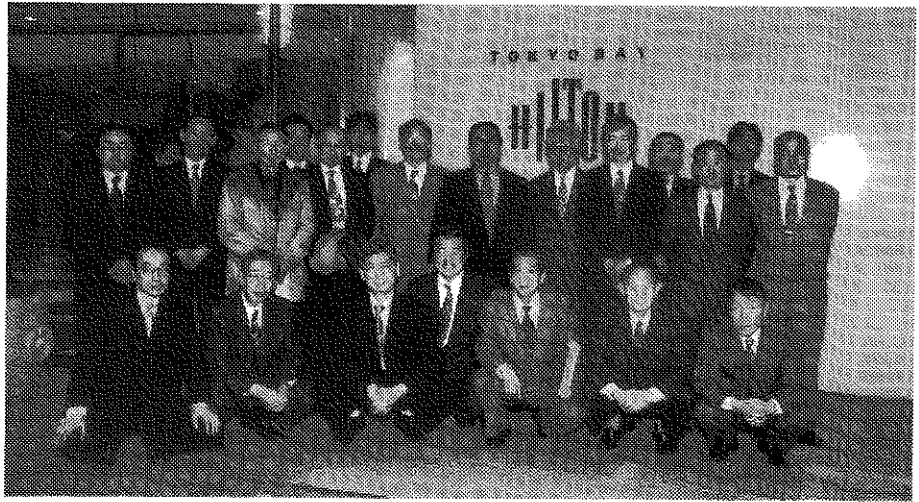
席について、それぞれが飲みものを注文する。粹のない大きなガラス窓からは、東京湾を一眺、東京方面から京橋地区、羽田空港までの灯りが美しく点々と続いている。東京タワーや聖路加タワーが目立って見える。満潮の海が暗く静かであった。

時折、空港に離着陸する航空機が、ライトを点滅させながら飛び交っていた。

約一時間程で、満腹のお腹も治まった頃、お開きとする。従来だと、会が終って、二次会、三次会と称し、銀座あたりの馴染みの店へ出掛けるのが常



であったが、今日は場所が遠いのと、或る程度、満足感があつたのだから素直に家路に着いた様であった。(浅野記)



# 支部の動き

1月13日(水)本部「99新春のつどい」(17時30分～19時30分)於・東京プリンスホテル

1月28日(木)中央厚生事業協同組合「新年懇親会」於・人形町北浜本店(18時～) 水野支部長 出席

2月4日(木)本部支部長会(15時10分～)於・本部会議室、水野支部長出席

2月5日(金)部長・監査・地区長会(14時30分～15時10分)於・熱海金城館・会議室

1、支部長会報告事項  
2、各種委員会報告事項

3、中央区、京橋・日本橋支部主催で行う「中央区産業高度化支援事業セミナー」について

4、その他  
2月5日(金)支部・新年臨時総会開催(15時30分～)於・熱海金城館

司会 宇野副支部長

。開会のことば 花崎副支部長  
。挨拶 水野支部長  
。議事 水野支部長

。前期役員への感謝状・記念品の贈呈  
その他

。来賓挨拶 東京印刷工業厚生年金基金

田島一彌殿

中央区工業団体連合会会長

小薬忠昭殿

中央区地域振興部商工課長

斎藤裕文殿

中央区厚生事業協同組合副理事長

長山 浩殿

閉会のことば 石澤副支部長

—新年宴会次第(18時開宴)

。進行 松岡副支部長

西山副支部長

。記念写真撮影(全員)

水野支部長

。挨拶

。関連業界代表挨拶 東京都製本工業組合京橋支部長

岸田俊辰殿

。鏡開き

。乾杯 京橋支部顧問 小山英美殿

。関連業界紹介

。 — 歓談 —

。演芸 のど自慢・カラオケ大会

。中 締

。京橋支部相談役 十文字康雄殿

2月23日(火)中央区中小企業商工関係者表彰式

(15時～)於・中央会館 水野支部長他出席

3月4日(木)本部支部長会(15時10分～)於・本部会議室、花崎副支部長代理出席

3月8日(月)中央区産業高度化支援事業セミナー

経営者向け講座(第1回)(18時～20時)

於・中央区役所8階大会議室

於・中央区役所8階大会議室



3月11日(木)部長・監査・地区長会(12時)  
於・支部会議室

- 1、支部長会報告事項
- 2、各種委員会報告事項

3、「京橋の印刷」103号の発行について

4、平成11年度・支部通常総会開催準備について

5、支部パソコンにより支部組合員宛FAX(一斉同報)送信システムの有効活用について

6、京橋支部「長寿者の集い」開催(6月)について

7、実施中の「中央区産業高度化支援事業セミナー」について

8、平成11年度中に支部事業として行う研究会(案)の提案について

9、その他

3月12日(金)中央区産業高度化支援事業セミナー  
経営者向け講座(第2回)(18時~20時)

於・中央区役所8階大会議室

3月15日(月)中央区産業高度化支援事業セミナー

経営者向け講座(第1回)(18時~20時)

於・中央区役所8階大会議室

3月19日(金)中央区産業高度化支援事業セミナー

営業担当者向け講座(第2回)(18時~20時)

於・中央区役所8階大会議室

4月1日(木)部長・監査会(11時30分~13時)

於・支部会議室

- 1、平成10年度事業報告書の作成について
- 2、平成11年度事業計画案の作成について

3、平成10年度収支決算概略報告、財務の執行状況の概略報告

4、平成11年度通常総会の役割りについて

4月8日(木)部長・監査・地区長会(12時~14時)

於・支部会議室

1、本部理事会(3月18日)報告事項

2、各種委員会報告事項(厚生委)

4月14日(水)監査会(11時~12時)於・支部会議室

平成10年度支部収支決算の監査実施

4月21日(水)部長・監査会(11時~12時)

於・支部会議室

1、平成10年度事業報告書、平成11年度事業

計画案、平成10年度収支決算報告書、平成

11年度収支予算案の最終策定

2、平成11年度通常総会当日の細目について

3、その他

4月22日(木)平成11年度京橋支部印刷人青年会総

会(18時30分~19時)於・第一ホテル水

野支部長出席

4月24日(土)日本橋支部平成10年度定時総会(14

時)於・マホロバ・マインズ三浦 松岡

副支部長代理出席

## 支部員の異動

・脱退組合員

。 (株)サン・アート、谷本繁信氏(京橋地区)

9月

。 (株)大成印刷社、須賀 功氏(湊地区)

11月

。 共立印刷(株)、片岡 明氏(新川地区)

2月

。 相川印刷(株)、相川文三氏(新富地区)

3月

。 支部転入

。 (株)ケープリント、竹内利仁氏

入船一―一―二〇

電話 五五六六―三三〇一

FAX 五五六六―三三〇三

お悔やみ申し上げます

▼築地地区

(有)すのほら印刷所社長ご母堂

春原律代殿御逝去(2月)

▼湊地区

(株)興文堂元会長

寺町佐六殿御逝去(2月)

▼八丁堀地区

(資)昭三堂印刷所社長

大作勝治殿御逝去(3月)

▼湊地区

(株)三和印刷社社長ご令閔

市川千代三殿御逝去(4月)



**編 集 後 記**

表紙のカラーは100号の記念号より101号、102号と3回続きましたが103号の本号からは元のモノクロに戻りました。

又、本文記事には出来ませんでした。3月18日の本部理事会に於いて「3共済加入推進キャンペーン」での結果報告で、京橋支部は3共済とも目標の完全達成を成し遂げ中村理事長より感謝状を受賞しましたので感謝状を以上の写真でご披露いたしました。

(横田)

